

達成度（評価）
A：十分に達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

1 前年度 評価結果の概要
1 分かる授業の構築と確かな学力の向上（知）について→学力向上の成果指標はおおむね達成しているが、全国・県調査の結果を見ると、学力は十分定着していない。成果指標の見直しと指導方法の工夫・改善に取り組む。
2 豊かな心と健やかな体づくり（徳・体）について →昨年度の3校連携の校内研究の上に、系統的・教科横断的に人権・同和教育に取り組む児童生徒の実践的態度を育む。
3 家庭・地域とつながり、地域を元気にする学校づくり→情報発信を積極的に行い、保護者や地域と協働し、開校した義務教育学校が児童生徒、保護者、地域にとって魅力ある学校をつくる。

2 学校教育目標 心やさしく(徳) たくましく(体) 志高く(目的・目標) ともに学ぶ(知) 児童生徒の育成 — 東陵学園型9年教育の推進 —

3 本年度の重点項目 1 分かる授業の構築と確かな学力の向上(知) 2 豊かな心と健やかな体づくり(徳・体) 3 発達段階におけるキャリア教育(4領域8能力)の育成 4 家庭・地域とつながり、地域を元気にする学校づくり

4 重点取組内容・成果指標 (1)共通評価項目 中間評価 5 最終評価

Table with 5 main columns: 評価項目, 取組内容, 重点取組, 具体的取組, 達成度(評価). It contains detailed evaluation data for various categories like '学力の向上', '心の教育', '健康・体づくり', '業務改善・教職員の働き方改革の推進', and '特別支援教育の充実'.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目

Table with 5 main columns: 評価項目, 重点取組, 具体的取組, 達成度(評価), 最終評価. It contains detailed evaluation data for '開かれた学校づくり'.

5 総合評価・次年度への展望
・「学力向上」については、全国・県調査の結果からは学力が十分定着しているとはいえない。また、EdTechを活用した教育の情報化を推進し、学習環境の整備に取り組んだが、十分な効果は得られていない。次年度は、研究指定と合わせ校時表も変わることから、十分な教材研究や有効な活用方法について研修の時間を生み出し、児童生徒の学力向上につなげていく。